

2015年3月度 中部品質工学研究会 議事録

1. 開催日時

3月7日（土）10:00～16:00

2. 開催場所

中部品質管理協会

3. 参加者<50音順、敬称略> 出：出席、欠：欠席、見：見学、書：書記

井上	欠	伊藤	出	梅本	欠	大見	出	奥田	欠	杉浦	出	則尾	出	林(p)	出	林(二)	出
牧野	出	山口	出	横尾	欠	和田	出	舟山	書	雲丹亀	見						

4. 斎藤会長挨拶

斎藤会長の経歴、品質工学会の沿革紹介

現在の品質工学会会員数：1762名 MAXは2007年2269名

これまで、9か所の地方研究会を訪問し、品質工学会がこれからどうなるべきかのアドバイスを聞いて回っている。

頂いたアドバイスは役員会にて議論し、より良い品質工学会を目指している

現在これまでの訪問先アドバイスから下記を検討している

大会発表の審査が偏っているとの意見あり→参加者が選ぶ賞を設ける

発表大会にて若手が議論し合える部屋を設ける

HP上にて会員は過去の論文を全部見えるようにする

中部研究会からの意見

研究会としては手法自体の研究と商品への適用による成果出しの両面が必要

もっと分かり易く自分の会社の実務に役立つ内容にしてほしい

他の学会大会では初級、中級、上級などの勉強会がある。大会プログラムに組み込めないか

発表大会に参加した人がおもしろい！自分もやってみたい！と思える会にしてほしい

品質工学をもっと知らせる教育活動をしてほしい

5. プランジャ型ソレノイドの機能について(その7)/山口

合せ込みのSN比について、様々な解析方法を検討中である。入力電流を標示因子に

する方法では最適条件が抽出できているが、全電流を累積する方法では上手く解析できていない。

今後、その原因について考察する。また、ロバストネスについて累積法での解析を試みる。

6. 新製品開発手法の研究 (QFDによる進め方)

前回トイレ用途向け紙タイプの消臭剤に的を絞った要求品質 (VOC) 出しを行い

その結果をもとにVOCの整理と品質要素展開表を記入してきた。

品質要素展開表をもとに評価方法 (数値or記号) の検討、原価を入れこむか等の議論が行われた。

次回までに他社比較をしてくる予定

7. 商社の機能の研究/和田

前回のアドバイスをもとに社内にて「顧客から見た商社機能」の原始情報をシーン別に「ブレインストーミング」を実施。

シーンを想定し具体的に行う行動まで細分化した。

行動系まで一気に落とし込んだのですごく大きなものになった。

各軸の整理方法や展開方法の機論が行われた

行動系まで落とし込んだおかげで、新入社員の教育資料としてはとても良いものになった

次回までに各項目に関して重みづけをし重要度と実現性から評価する

8. 次回案内

日時： 4月5日（土）10:00～16:00

場所： I T E Q 議事録：伊藤 テーマ：横尾

詳細：